



2022年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2021年10月27日

上場会社名 株式会社 タカキタ
 コード番号 6325 URL http://www.takakita-net.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松本 充生
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 中坊 督 TEL 0595-63-3111
 四半期報告書提出予定日 2021年11月5日
 配当支払開始予定日 2021年12月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第2四半期の業績（2021年4月1日～2021年9月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	3,785	19.7	373	141.9	391	129.9	263	137.6
2021年3月期第2四半期	3,162	△16.4	154	△59.5	170	△57.2	110	△56.4

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	22.84	22.64
2021年3月期第2四半期	9.61	9.53

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第2四半期	8,747	6,814	77.3
2021年3月期	8,164	6,631	80.7

(参考) 自己資本 2022年3月期第2四半期 6,763百万円 2021年3月期 6,586百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
2022年3月期	—	5.00	—	—	—
2022年3月期（予想）	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年3月期の業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,800	4.6	400	0.0	435	△4.5	290	△10.2	25.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期財務諸表及び主な注記(4) 四半期財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2022年3月期2Q	14,000,000株	2021年3月期	14,000,000株
2022年3月期2Q	2,506,217株	2021年3月期	2,451,205株
2022年3月期2Q	11,535,934株	2021年3月期2Q	11,537,475株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、(添付資料)2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(4)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) キャッシュ・フローに関する説明	2
(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第2四半期累計期間	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報)	8
(追加情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況が続きました。感染拡大の防止策やワクチン接種の促進により、持ち直しの動きが見られるものの、引き続き感染の動向が内外経済に与える影響やサプライチェーンを通じた資材高騰の影響等、先行きは極めて不透明な状況にあります。

このような情勢のもと、農業機械事業におきましては新製品の投入効果や国の畜産クラスター事業^{*1}の採択が一定程度進んだことにより、可変径ロールベアラや細断型ホールクローブ収穫機等、高品質な国産飼料増産と食料自給率の向上に寄与するエサづくり関連作業機の売上が伸張したことに加え、新製品実演会の促進効果や農業従事者を対象とした政府による経営継続補助金^{*2}の後押しにより、有機肥料散布機自走コンボキャスタ等の土づくり関連作業機の売上が寄与した結果、国内売上高は増収となりました。また、海外売上高は、新型コロナウイルス感染症拡大による営業活動の縮減や市況低迷の影響が続いたものの、欧州向けの細断型ロールベアラの受注が堅調に推移したことや、オンライン展示会の活用効果により増収となりました。以上により、農業機械事業全体の売上高は前年同期比6億70百万円増加し36億3百万円（前年同期比22.9%増）となりました。

軸受事業におきましては、得意先からの受注の減少により、売上高は前年同期比47百万円減少し1億82百万円（前年同期比20.8%減）となりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の売上高は前年同期比6億22百万円増加し37億85百万円（前年同期比19.7%増）となりました。

利益面におきましては、人件費の増加や資材高騰の影響を受けましたものの、売上高の増加に加え、原価低減活動・経費削減等の効果により、営業利益は前年同期比2億19百万円増加し3億73百万円（前年同期比141.9%増）、経常利益は前年同期比2億21百万円増加し3億91百万円（前年同期比129.9%増）、そして四半期純利益は前年同期比1億52百万円増加し2億63百万円（前年同期比137.6%増）となりました。

*1 畜産クラスター事業…政府による畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業

*2 経営継続補助金…政府による農林漁業者を対象とした新型コロナウイルスの感染防止対策に係る補正予算事業

（2）財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ5億83百万円増加し、87億47百万円となりました。これは主に現金及び預金が3億6百万円、電子記録債権が2億22百万円それぞれ増加したことによるものであります。

当第2四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末に比べ4億円増加し、19億33百万円となりました。これは主に電子記録債務が3億31百万円、未払法人税等が94百万円それぞれ増加したことによるものであります。

当第2四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末に比べ1億82百万円増加し、68億14百万円となりました。これは主に利益剰余金が2億5百万円増加したことによるものであります。

（3）キャッシュ・フローに関する説明

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、仕入債務の増加などの要因により、前事業年度末に比べ3億6百万円増加し、11億68百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は4億78百万円（前年同期比150.6%増）となりました。

これは主に、税引前四半期純利益3億91百万円、売上債権の増加額2億17百万円及び仕入債務の増加額3億34百万円などを反映したものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は73百万円（前年同期比38.2%減）となりました。

これは主に有形固定資産の取得による支出49百万円や無形固定資産の取得による支出32百万円などを反映したものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は98百万円（前年同期比67.6%増）となりました。

これは主に自己株式の取得による支出39百万円や配当金の支払額57百万円などを反映したものであります。

（4）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の業績予想につきましては、2021年4月28日に発表いたしました通期の業績予想の数値から変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2021年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	861,659	1,168,219
受取手形及び売掛金	1,100,848	1,004,640
電子記録債権	954,966	1,177,444
商品及び製品	665,311	663,152
仕掛品	141,932	162,427
原材料及び貯蔵品	290,211	346,736
未収入金	529,537	583,530
その他	34,229	17,601
流動資産合計	4,578,696	5,123,754
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,048,873	1,035,945
機械及び装置（純額）	371,566	333,757
土地	562,140	562,140
その他（純額）	160,014	179,923
有形固定資産合計	2,142,594	2,111,767
無形固定資産	145,438	204,609
投資その他の資産		
投資有価証券	933,264	943,446
その他	365,366	364,771
貸倒引当金	△786	△726
投資その他の資産合計	1,297,844	1,307,491
固定資産合計	3,585,877	3,623,868
資産合計	8,164,574	8,747,622
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	298,209	285,935
電子記録債務	352,963	684,498
短期借入金	70,000	70,000
未払法人税等	36,333	131,310
賞与引当金	106,763	111,466
その他	412,597	395,481
流動負債合計	1,276,867	1,678,692
固定負債		
退職給付引当金	236,977	206,575
役員退職慰労引当金	4,700	4,100
その他	14,452	43,868
固定負債合計	256,130	254,544
負債合計	1,532,998	1,933,236

(単位：千円)

	前事業年度 (2021年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2021年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,350,000	1,350,000
資本剰余金	830,032	832,196
利益剰余金	4,609,984	4,815,644
自己株式	△612,725	△649,492
株主資本合計	6,177,291	6,348,348
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	409,173	415,348
繰延ヘッジ損益	129	—
評価・換算差額等合計	409,303	415,348
新株予約権	44,981	50,689
純資産合計	6,631,575	6,814,385
負債純資産合計	8,164,574	8,747,622

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
売上高	3,162,660	3,785,608
売上原価	2,220,244	2,558,607
売上総利益	942,416	1,227,000
販売費及び一般管理費	787,996	853,479
営業利益	154,420	373,520
営業外収益		
受取利息	5	2
受取配当金	6,257	7,219
不動産賃貸料	11,626	11,759
その他	2,406	3,786
営業外収益合計	20,295	22,767
営業外費用		
支払利息	120	126
不動産賃貸原価	2,737	2,677
売上割引	1,713	—
リース解約損	—	2,000
その他	26	357
営業外費用合計	4,597	5,161
経常利益	170,117	391,126
特別利益		
固定資産売却益	8	269
特別利益合計	8	269
特別損失		
固定資産廃棄損	14	—
特別損失合計	14	—
税引前四半期純利益	170,112	391,396
法人税、住民税及び事業税	44,113	117,106
法人税等調整額	15,132	10,860
法人税等合計	59,246	127,966
四半期純利益	110,866	263,429

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	170,112	391,396
減価償却費	138,546	115,485
株式報酬費用	11,000	10,362
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△33,477	△30,402
賞与引当金の増減額 (△は減少)	1,025	4,703
受取利息及び受取配当金	△6,263	△7,221
支払利息	120	126
固定資産廃棄損	14	—
固定資産売却損益 (△は益)	△8	△269
リース解約損	—	2,000
売上債権の増減額 (△は増加)	△169,155	△217,445
棚卸資産の増減額 (△は増加)	31,796	△74,861
仕入債務の増減額 (△は減少)	147,071	334,053
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△59,238	△42,199
その他	2,492	△2,301
小計	234,034	483,424
利息及び配当金の受取額	6,264	18,544
利息の支払額	△121	△125
法人税等の支払額	△49,265	△23,404
営業活動によるキャッシュ・フロー	190,911	478,439
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△91,451	△49,672
有形固定資産の売却による収入	117	269
無形固定資産の取得による支出	△35,699	△32,681
投資不動産の賃貸による収入	11,626	11,759
貸付金の回収による収入	50	60
その他	△4,009	△3,480
投資活動によるキャッシュ・フロー	△119,367	△73,745
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△30	△39,463
配当金の支払額	△57,931	△57,755
リース債務の返済による支出	△620	△929
その他	20	10
財務活動によるキャッシュ・フロー	△58,562	△98,138
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	4
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	12,981	306,560
現金及び現金同等物の期首残高	851,558	861,659
現金及び現金同等物の四半期末残高	864,540	1,168,219

（4）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

（収益認識に関する会計基準等の適用）

「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。）等を第1四半期会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

なお、「収益認識に関する会計基準の適用指針」第98項に定める代替的な取扱いを適用し、商品又は製品の国内の販売において、出荷時から当該商品又は製品の支配が顧客に移転される時までの期間が通常の間である場合には、出荷時に収益を認識しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第2四半期累計期間の損益に与える影響は軽微であります。また、利益剰余金の当期首残高への影響も軽微であります。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間（自2020年4月1日 至2020年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期損益計 算書計上額 (注) 2
	農業機械事業	軸受事業			
売上高	2,932,435	230,224	3,162,660	—	3,162,660
セグメント利益 又は損失(△)	167,087	△17,702	149,384	5,035	154,420

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、鉄屑等のスクラップ売却代であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期累計期間（自2021年4月1日 至2021年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期損益計 算書計上額 (注) 2
	農業機械事業	軸受事業			
売上高	3,603,189	182,418	3,785,608	—	3,785,608
セグメント利益 又は損失(△)	384,242	△29,931	354,311	19,209	373,520

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、鉄屑等のスクラップ売却代であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

当第2四半期会計期間において、会計システム変更を契機に当社資産について報告セグメント別に整理を行ったため、セグメント資産について著しい変動はありませんが、参考情報としてセグメント資産残高を記載しております。

当第2四半期会計期間（2021年9月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額(注)	四半期貸借対照 表計上額
	農業機械事業	軸受事業			
セグメント資産	5,911,810	296,487	6,208,297	2,539,324	8,747,622

(注) セグメント資産の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社資産等であります。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない余資運用資産（現預金及び有価証券）、長期投資資金（投資有価証券）及び管理部門にかかる資産等であります。

(追加情報)

前事業年度の有価証券報告書の（追加情報）「新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する会計上の見積り」に記載した新型コロナウイルス感染症による影響に関する仮定について重要な変更はありません。